

(10) 対象基準地の前年標準価格等の検討	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規 前年標準価格 264,000 円／㎡				③ 価格形成要因の変動状況	[一般的要因]	景気は緩やかに回復しているが、物価上昇の継続が景気を押下しするリスクになっている。また、金利の動向には留意を要する。
	①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 □代表標準地 □標準地 標準地番号 - 公示価格 円／㎡					[地域要因]	地域要因に特筆すべき変化はないものの、新築戸建て分譲、更地分譲において強気の価格設定が目につく。
						[個別的要因]	代替・競争関係にある他の不動産と比較した優劣の程度、及び競争力の程度に変動はない。
	②変動率	年間	+3.0 %	半年間	%		